

こんふおーと便り

第 6 号
平成 24 年 4 月 1 日
発行者 田中利征



3月2日に一日早いお雛様を行いました。半月前位から少しずつ準備を始め、利用者様にも作っていただけるようにお雛様のキットを作り始めて皆様に一つ一つ人形を手作りしていただいています。面白い物で、同じように作っていただいているにも関わらず、目や鼻を書いていただくとどれも個性的に仕上がりに愛らしい姿と完成していききました。初めは、「お雛様を作るなんて・・・。」と思われていた方も、作業をしているうちに真剣なまなざしになられ、作り上げたご自分の人形に満足された様子でした。



皆様順番に入浴されている間、リビングではお好きなものを飲みながら、のんびり過ごされています。テレビを見たり、お喋りしたり、オセロやトランプ、花札など。テレビで囲碁を見るのが好きだとI様が仰っていたので、A様に出来るか伺ったところ、若い頃にやったとのこと。一戦交えていただきました。お二人とも真剣で、こちらが話し掛けても耳には入らない様子でした。この日は負けてしまったI様も「やられた！」と清々しい笑顔を見せて下さいました。職員も教えていただき、碁並べくらいは出来るようになりました。



うどんを作りました

薄力粉、強力粉、塩を水で捏ねるところから始めました。足で踏み、ねかせて、のして、切って、茹でて、昼食に食べました。作った事がある方もいましたが、ほとんど皆様初の体験で、次第に面白くなったのか、楽しんで作っていました。I様にご自分で打ったうどんの味を聞いてみると、「素朴な味だね」と仰り、食べ過ぎたのかM様は「少し胸焼けがする」と笑っていました。



3月10日はA様のお誕生日です。少し早いですが8日にみんなで祝いしました。盛大な拍手と飛び交う「おめでとう！」の言葉の中、職員手作りのケーキに

ローソクを立てて吹き消していただきました。少し照れた様子のA様、3つ年上のY様に「どっちが長生きするか、私と競争だよ！」と笑顔で声を掛けられると、うんうんと大きく頷いていました。I様も祝辞を述べられた後、手作りケーキに感心して、「切るところが見たい」とおっしゃり、3時のおやつに切り分けて、皆様に召し上がっていただきました。

4月の予定

・外出レクリエーション